

乳房手術を受けられる

様の入院計画表



(患者ID: _____)

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

岡山赤十字病院 病棟 (_____) 外科 主治医 _____

受け持ち看護師 _____

患者様署名 (代理人署名) _____

日付	入院時 月 日	手術前日 月 日	手術当日 手術前 手術後	手術後 1日目 月 日	手術後 2日目 月 日	手術後 3日目 月 日	手術後 4日目 月 日	手術後 5・6・7日目 月 . . 日	手術後 8~14日目以後 月 ~ 日
達成目標	手術の説明を受け、不安や疑問な点が質問できる。		・鎮痛剤を使用し、疼痛をコントロールできる。	・創部に問題がない。 ・離床の必要性を理解し、離床できる。			・退院できる。		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 病状・手術について主治医が説明します。 予定日時— 入院生活・手術について、看護師が説明します。 麻酔科医の手術前の訪問があります。 手術室看護師の手術前の訪問があります。 パンフレットの説明を行います。 		以下の物を手術までにそろえてください。 <ul style="list-style-type: none"> 胸(腹)帯2枚 T字帯 1枚 バスタオル1枚 ティッシュペーパー 	・手術直後、主治医より家族の方に手術についての説明があります。			・腋窩リンパ節をとらなかった時 退院 (/) 今後の日常生活について主治医、看護師がお話します。 ・腋窩リンパ節を全部とった時 (手術後14日前後) 退院 (/) 今後の日常生活について主治医、看護師がお話します。		
検査			・血圧、脈拍、体温を測ります。	・熱を測ります。(朝・昼・夕) ・胸部レントゲン ・採血があります。			・熱を測ります。(昼)		
処置薬剤	 <ul style="list-style-type: none"> 脇の毛を剃ります。爪切りをします。 弾性ストッキングを渡します 	<ul style="list-style-type: none"> 弾性ストッキングをはきます。 10時頃より点滴をします。(午後から手術の場合) 手術衣(お持ちします)に着替えます。 時 分頃 _____ で手術室へ行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴をします。 → 午前中まで 抗生剤の点滴をします。 胸に管が入っています。(腋窩リンパ節を全部とった時や状況に応じて管が入ります。) 傷が痛む場合、鎮痛剤を投与します。 				<ul style="list-style-type: none"> 胸の管を抜きます。(手術後5~8日目) 排液50ml/日以下が抜去の目安です。 糸抜きをします。(7日目以降)(必要な場合) 		
安静度	・自由です。		・床上	・自由です。					
排泄	・トイレへ歩いて行ってください。		・尿の管が入っています。	・尿管を抜きます。 ・トイレへ歩いて行ってください。			・トイレへ歩いて行ってください。		
食事	・普通食が出来ます。		_____ 時から絶食です。 _____ 時から絶食です。	・絶飲食です。 ・指示があれば水が飲めます。			・朝から普通食が出来ます。		
清潔	・入浴またはシャワーを浴びてください。		・朝、シャワーをしてください。(8時~)	・タオルで体を拭き替えます。	・タオルを配ります。	・(胸の管なし) 傷の絆創膏を水に濡れてもよいものに貼りかえたらシャワーができます。 ・(胸の管あり) 胸の管が抜けたら、絆創膏を水に濡れてもよいものに貼り替えてシャワーができます。			
リハビリ *腋窩リンパ節を全部とった時のみ	・リハビリ用の壁のぼり表を貼ります。		・手術をした側の腕の下に枕を入れ、浮腫を防止します。	・ボールを握ったり、指の運動をしてください。 ・日常動作の中で、少しずつ手を使うようにしましょう。(肘の関節から下の運動を積極的に行いましょう。)		90° まで腕を挙げてもいいます。		(医師の指示後) ・リハビリ室に行きリハビリをします。 ・壁登り表を使って、腕の挙上運動をはじめます。	

特別な栄養管理の必要性 有・無 (どちらかに○) 入院時この用紙を持参してください。
 総合的な機能評価: 自立 ・ 一部介助 ・ 全介助